



ROKKO



校長
満丸 浩

「逆境は頑張り時」

令和2年度は、挨拶・時間・清掃をキーワードに「明るく元気な学校」を重点目標に掲げました。新型コロナウイルス感染防止で例年とは異なる状況もありますが、全校生徒 1070 名が元気に登校し、授業や部活動にも活気がありました。生徒の皆さんの元気な挨拶と笑い声に安堵しています。全国的な臨時休校もあり、今は経験したことのない逆境といえます。私が民間企業に就職した新卒の頃は仕事上の失敗が多く、いつも「逆境は頑張り時」と自分を奮い立たせる日々でしたが、今は一人一人の頑張り時です。

ところで、この「逆境は頑張り時」というフレーズは江戸幕末を駆け抜けた吉田松陰の講義録「講孟笥記」の序文を引用して作りました。「境、順なる者は怠り易く、境逆なる者は励み易し。怠れば則ち失い、励めば則ち得るは、是れ人の常なり。」という一文からです。人は、物事がうまくいっているときは、勉強や努力を怠りがちになりますが、逆境で苦労が多いときほど努力を惜しまず励み易く、人としても成長すると思います。

もう少し耐え忍んだ先には、授業・資格取得・部活動・大運動会・鹿工祭と充実した高校生活が訪れることを願っています。

入学式

4月7日(火)に、年号が令和に変わり始めての入学式が厳粛に行われました。今年は、男子 310 名、女子 50 名の計 360 名の生徒たちが大きな希望をもって、本校 112 年の伝統を受け継ぐために入学してきました。

宣誓は 1 年 3 組の山口楓太君(河頭中)が行い、今後の高校生活での夢実現についての決意がくみ取れる堂々とした宣誓でした。

今年度の入学式は、諸事情により昨年度より時間短縮のなかで執り行われましたが、式での新入生の厳粛な対応は今後の鹿工の未来を期待させるものでした。



校長式辞



新入生代表宣誓



入学許可



PTA会長挨拶

歓迎の言葉



生徒会長
インテリア系3年
神 紗里(緑丘中)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同心から歓迎いたします。皆さんがこれから過ごす三年間はとても大切に貴重な時間です。数々の挑戦を重ね、自分を成長させ、充実した学校生活を送っていきましょう。あなたが作る三年間、みんなで築く三年間を無駄にせず、振り返ってみた時にあふれるほどの思い出を残してほしいと思います。皆さんが一日でも早く鹿工に慣れ、新しい力を発揮できるよう応援しています。

鹿児島工業高校に入学して



1年3組
山口 楓太(河頭中)

何事も初めての事ばかりで、不安を抱えて始まった高校生活は、クラスメイトや先生方にも恵まれ、これから先の3年間が楽

しみて仕方ありません。

勉強と部活動の両立や学校行事、資格取得など大変なことばかりですが、ひとつずつ精一杯取り組み、充実した高校生活を送れるように日々精進していきたいです。



部活動紹介(生徒会)

4月8日(水)の5校時に、本校体育館において、例年より縮小した形で部活動紹介が行われました。今回は、各部活動・同好会の部長による口頭紹介になりましたが、それぞれ新入部員獲得に向けて、懸命のアピールが繰り広げられました。

生徒会長のインテリア系3年神紗里さん(緑丘中)もあいさつの中で触れましたが、多くの生徒が部活動に入学し、学業とともに鹿工を大いに盛り上げる活躍をしてくれることを期待しています。



ソフトボール部



剣道部



ラグビー部



弓道部

オリエンテーション(一学年)

4月8日(水)の2校時に、本校体育館にて、新入生オリエンテーションが行われました。今年度は、感染症対策として1時間での実施となりました。主に生徒指導部、交通指導係の先生方からのお話で、鹿工生としての自覚や今後の学校生活で身につけること等が中心となりました。

まだまだ緊張した表情でしたが、少しでも早く鹿児島工業を盛り上げられる真の「鹿工生」となれるよう期待しています。



学年主任



生徒指導部



進路指導部



交通指導

いいかげんなことをしない生徒たれ

生徒指導部 堀口 晃



令和2年度の航海が始まりました。これから幾多の荒波を体験することになるでしょうが、1年後には全てを乗り越えて成長した姿で、穏やかで澄み切った青空の下、施工生全員が悠々とした姿で帰港しましょう。まずは「新型コロナウイルス感染症予防」に対する対応ですが、注意が必要なことは各自しっかり守るようにしてください。落ち着いて行動し、今やるべき事に全力で取り組んでください。「進路実現」に関しては、昨年よりも厳しい状況が予想されますが、厳しくなればなるほど施工生にはチャンスが大きくなります。どの時代も「本物」が要求されるからです。まさに君たちの番です。「今すべきこと」を意識して、日常生活に付加価値をつける言動を心掛け、習慣にしてください。「いいかげんなことをしない生徒たれ」今まさに我々の武器です。中でも、①きちんとした気持ちのよい「挨拶」(語先後礼)、②「時間」に対する意識を高める、③目的をもって考える「掃除」の実行を徹底しましょう。同時に、規則やマナーの意味を良く理解すると共に、高いレベルでの取り組みを意識して行動してください。令和2年度は以下の3点を生徒指導部の重点目標に掲げますので、全員が常に意識してください。

Ⅰ 積極的かつ主体的に「挑戦」する姿勢の確立

状況判断を基に目標や目的を設定し、それに向かって考えて行動する。失敗を恐れずに諦めない、ゴールを目指して「挑戦」し続ける姿勢を身につける。「その場」、「その時」に何をすべきかの状況判断と、「何のため」にしているのかの意味をよく考え、高い意識で行動しましょう。

Ⅱ 凡事徹底

どのような時代においても通用する「自分」を財産として活躍できる人材になるために、「当たり前のことを誰にも負けないくらい一所懸命やり続ける」ことをしっかり習慣づける。「いいかげんなことをしない生徒たれ」

特に「挨拶と掃除」は、チャンスをつかむための準備作業です。

人が見ていない所こそ、誰よりも手を抜かずに取り組み「人財」になろう。

(整理整頓をはじめ、挨拶・門礼、話を聴く姿勢など、誰にも負けないくらい一所懸命取り組み、自分で納得できる言動を実行する。)

Ⅲ 日々精進

本校の校訓に掲げられているとおり、日々向上を目指して努力する、何事にも集中して取り組むという意味です。

「まあ、いいか」と手を抜くことなく、日常生活を過ごしましょう。

自分自身が向上し、社会において活躍できるように「日々精進」です。

常に意識してください。その積み重ねが、あらゆる場面の結果に出でます。

登下校時は余裕を持って、自転車や徒歩における安全確認と周囲に対するマナー(思いやり)は勿論のこと、公共交通機関や公共施設においても「気配り」、「目配り」、「思いやり」の心を忘れないでください。「チーム施工」の一員であることを忘れずに、誇りと感謝の気持ちを持って「夢実現」に邁進しましょう。

U18ソフトボールワールドカップ報告



電子機械系3年1組 永吉 飛斗(西陵中)

ニュージーランドで開催された第13回男子U18ワールドカップに出場しました。オープニングラウンド、スーパーラウンドともに全勝で2大会振り3度目の世界一となることができました。個人としては日本代表チームの主将を務めさせていただき大会MVPをいただくことができました。

これまで、たくさんのご支援やご声援をいただきソフトボールができる喜びを改めて感じる事ができました。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。応援していただきありがとうございました。



電子機械系3年2組 池田 蓮(紫原中)

私は中学3年生の時に出場したアジア大会では優勝し凄く内容も結果も良く、高校2年生の時のアジア大会もチームとして優勝出来て最高でした。今大会前のプレ大会での投球ではいつも通りの事ができずに失点してしまい、気持ちの切り替えが出来ないまま本番を迎えプレーは最低で散々な内容になってしまい残念でとても悔しかったです。

私の課題はメンタルと試合前の調整です。これを克服して今後の全国大会につなげたいと思います。